

<第10回（最終回）：打ち上げ期間>

12/5 18 日目

現地時間 6 時からカウントダウン作業を行いました。明日の土曜日はニーオルスン全体でクリスマスパーティーがあるという事情もあって、今日こそ打ち上げるといふ雰囲気がありました。今日の状況はというと、打ち上げ条件としては2) HF radar cusp backscatter は良好で、4) F2 region electron densities がやや低い状態の中カウントダウンは-3 分まで進みました。今回はいつ GO が出てもおかしくない緊張感の中で、1 時間以上有線の向こう側で PI サイエンスチームの議論が続きました。風も比較的穏やかなものの、スバルバードの天気は



10 分であつというまに変化することを全員が身をもって知ったところでした。私たち観測機班は上着を着たり脱いだりの繰り返しの中で、いよいよ今日のその時がやって参ります。PI チームから GO が出た後、ペイロードの内部電源がオンになり、観測機班は各観測機の状態をチェックするや否や、大半の者が屋外へ駆け出して行きました。12 月 5 日 10 時 35 分 (UT)、ICI-2 ロケットは発射されました。闇の中にあるオーロラに向けて、光の矢が空気を切り裂いて進んでいきます。



3 時間後の夕会で全機器が問題なく動作したことが確認されました。私たち観測機班は作業棟に戻った後、シャンパンで祝杯を挙げました。ロケット班の人たちは早速撤収作業を始めて、観測機班の作業棟はあつという間に元の倉庫に戻りました。テレメトリデータを受信した可搬局も戻ってきました。その後、夕食のため食堂へ行くといつもの倍くらいの人（といっても 40 人くらい）がいました。明日のクリスマスパーティーのために近所から集まったのだそうです。

